

会員増強と退会防止について

2024年8月27日

2024-25年度

RI第2660地区クラブ奉仕・拡大増強委員会

副委員長 瀬戸口哲夫（大阪東RC¹）

自己紹介

1957年生 67歳 大阪府 出身

1981年 大阪ガス株式会社 入社
産業用、業務用、家庭用営業
技術開発、商品開発
資源・海外事業

2018年 大阪ガス 顧問
関係会社会長、他社社外役員
各種団体、学会
大阪東ロータリークラブ入会

2022年 地区クラブ奉仕・会員増強委員会

地区クラブ奉仕・拡大増強委員会メンバー

メンバー
14名

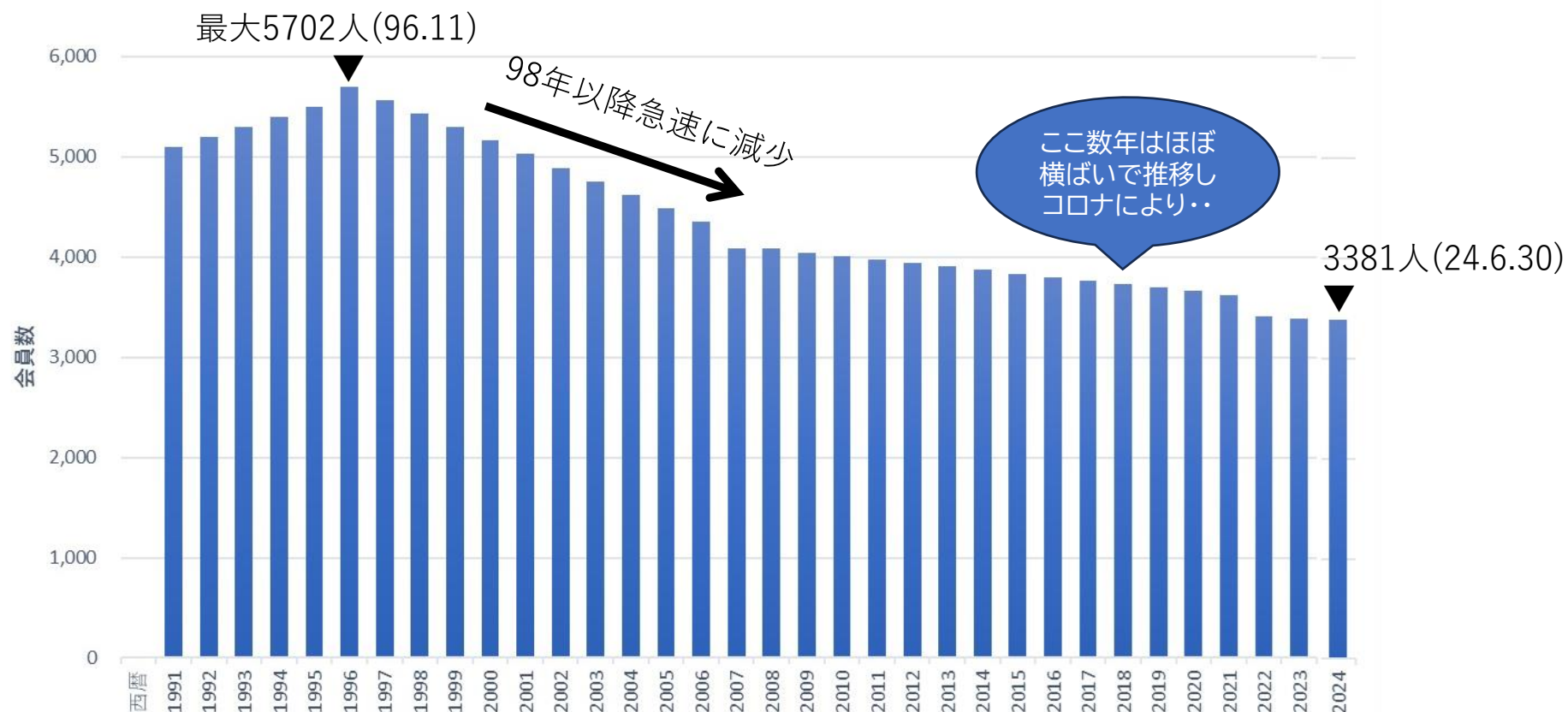
| | 氏名 | 所属クラブ |
|------|--------|---------|
| 委員長 | 樋口 武英 | 大阪東 |
| 副委員長 | 堀田 遥介 | 大阪北梅田 |
| // | 福田 忠 | 大阪難波 |
| // | 市村 優次 | 東大阪 |
| // | 浜田 晋 | 大阪北 |
| // | 瀬戸口 哲夫 | 大阪東 |
| 委員 | 川口 秀司 | 大阪東 |
| // | 武島 秀吉 | 大阪御堂筋本町 |
| // | 青山 総一郎 | 大阪南 |
| // | 吉田 千里 | 大阪西南 |
| // | 帆足 嘉寿大 | 東大阪中央 |
| // | 大和田 雅江 | 大阪西 |
| // | 富廣 恒敏 | 大阪東 |
| // | 河合 章成 | 大阪中央 |

地区クラブ奉仕・拡大増強委員会の活動内容

- ・ 会員増強セミナーの主催 2025年5月予定
- ・ 地区大会分科会Ⅱの主催 2024年11月29日(金)
- ・ 会員増強・新クラブ結成推進月間の卓話担当
- ・ 会員増強と退会防止に向けた支援活動
- ・ 少人数クラブ活性化の支援活動
- ・ 新クラブ結成の支援活動
- ・ クラブビジョン策定の支援活動
- ・ 毎月・ガバナー月信への会員状況報告

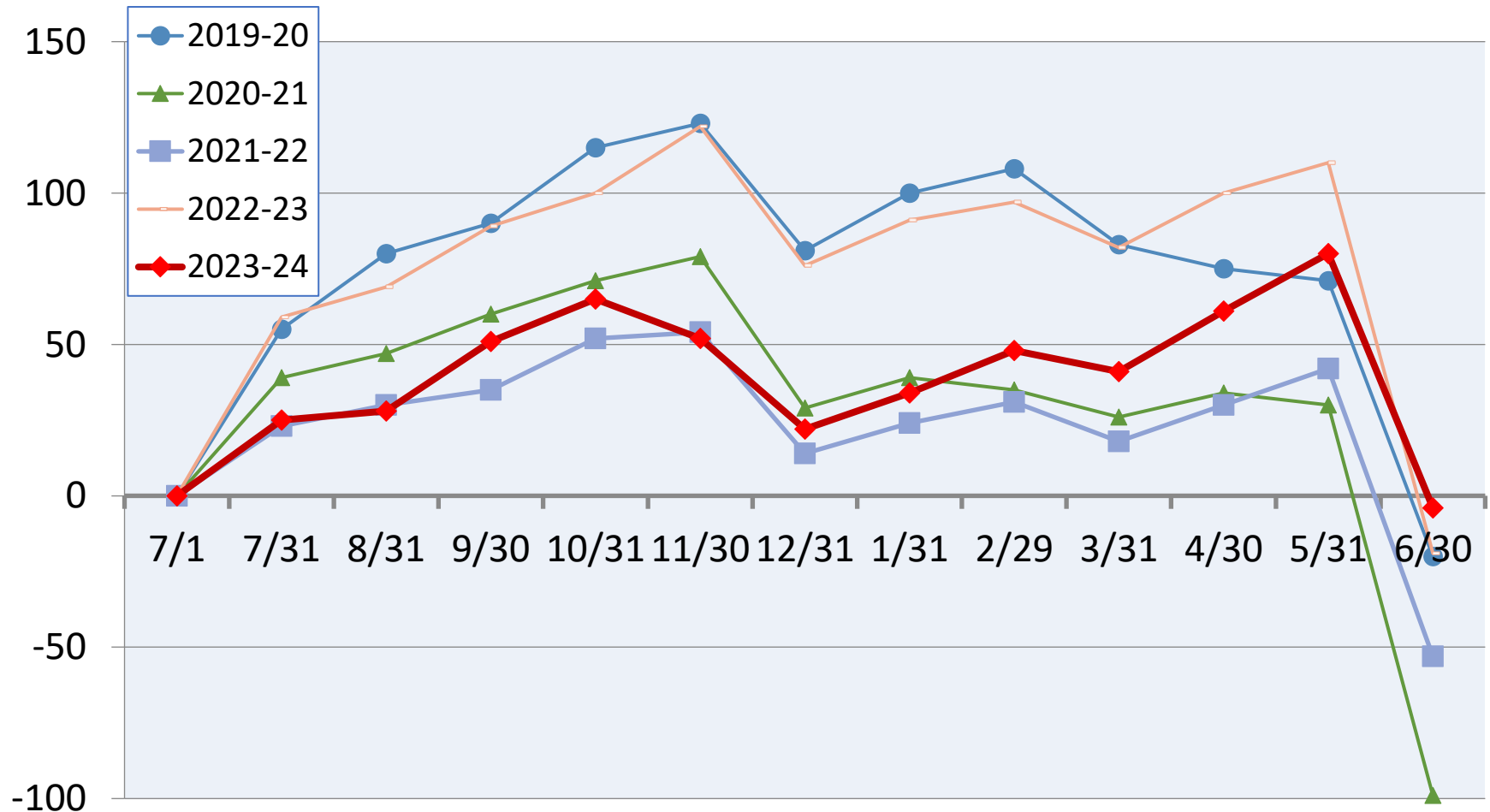
会員増強と退会防止について

RI2660地区の会員数の推移



第2660地区の状況

増加数(人)



出典: マイロータリー

第2660地区の状況（2023-24年度）

7 8 クラブ **3 3 8 1** 名 → **3 3 7 7** 名（**－4** 名）

入会 **2 8 0** 名 退会 **2 8 4** 名

会員増 **2 4** クラブ 会員減 **3 7** クラブ

| | 入会 | 退会 | 増減 |
|--------|-----|-----|------------|
| IM 1 組 | 4 9 | 5 0 | 1 |
| IM 2 組 | 2 6 | 3 1 | 5 |
| IM 3 組 | 3 5 | 4 4 | 9 |
| IM 4 組 | 5 0 | 3 5 | 1 5 |
| IM 5 組 | 6 4 | 4 6 | 1 8 |
| IM 6 組 | 5 6 | 7 8 | 2 2 |

RI会員の動向について

【現状】

世界のロータリー会員数 約140万人で推移

毎年 15万人の入会者 15万人の退会者

退会者 入会1年未満 約10% 3年未満 約48%

【退会理由】 入会后1年以内の退会

入会前に会員義務について十分な説明を受けてなかった
入会后にロータリーに関する十分な教育を受けなかった
出席規定や経済的な負担、期待したほど会員の交流がなかった

入会后1～2年後の退会

クラブに溶け込めなかった
期待したほどの親睦がなかった
多忙で出席規定が守れなかった

入会后3～5年後の退会

期待したほどの親睦がなかった
クラブのリーダーに不満を感じた
多忙で出席規定が守れなかった

RI の課題認識 **ロータリーの魅力が低下しているのではないか**

大東ロータリクラブ HP

- ・クラブが活発でない、会員数が減っている
- ・地域社会にもっと合った新クラブ結成の時が来ているのかもしれない
- ・クラブ会員と地域社会のニーズの橋渡しを
- ・地区やクラブが長年変わっていないからといって誰も変化を望んでいない訳ではない
- ・組織としての私たち自身についていくつかの変更を加える必要があるかもしれない
- ・変化には不安があるかもしれないが共に変化すれば不安も和らぐ

会員増強と退会防止



会員増強の事例 三浦ロータリークラブ ロータリーの友 2024年 4月号



29人から59人……人口減少の町で挑んだ会員増強

三浦ロータリークラブ（RC）は1962年、会員31人で創立。1981～82年度の58人をピークに徐々に会員数が減少し、1999～2000年度には40人、2007～08年度には30人を切ってしまい、以後15年間、二十数人の会員数で推移していました。

クラブがある三浦市の人口は、約5万5,000人でピークを迎え、その後減少に歯止めがかからず、現在は4万人を切りつつある小さな町です。さらに老年人口（65歳以上）が40%以上と、会員増強には逆風の状況でした。

そんな中での2022～23年度、私は入会半年でクラブ会員増強委員長に任命されました。会員数29人でのスタートでしたが、同年度の目標新会員数を11人、次年度で5人、さらに次の年度で5人増やし、3年かけて50人にする計画を立案、会員増強に乗り出しました。

方法は、会員に入会候補者を紹介してもらい、会員増強委員長が私が入会を勧めるというもの。積極的に出会いの場を設け、入会を勧めました。基本的には、三浦RCの公益的な事業を紹介し、「町が良くなるように、一緒に活動しましょう」というアプローチで勧誘しました。

結果は初年度で新会員数30人、退会者0人、会員数は倍以上の59人。当地区の地区大会でも「会員増加率」

「新会員入会」「会員維持率（退会者0）」

の会員増強に関する、全ての部門で表彰されました。

新会員は突然三浦に現れたわけではありません。今まで声をかけなかったり、無理だと決めつけたりしていただけで、以前から三浦にいました。既存の会員にも、今までよりもう一步踏み込んでの行動をお願いしました。簡単に入会してもらえ魔法のような言葉は、現実にはありません。誠意と情熱をもって、入会候補者に見合った勧誘をするのがよいと思います。

目の前の「ありがとう」にやりがいを感じる新会員

会員数が増えたことによる効用もありました。新会員の多くは40代。平均年齢も下がり、クラブに活気が満ちあふれています。継続事業の「子どもたちの芋掘り体験」や、昨年度から始めた「子ども食堂」の事業では、新会員が中心となって活動しています。

寄付をして国際社会に貢献したり、卓話を聞いて見聞を広めたりすることも良いことですが、目の前で、地域の子どもたちから「ありがとう」と言われるような事業は、若い会員にとって「ロータリーに入会して良かった」という実感へとつながるようです。

今年度は新会員への研修に力を入れ、退会者を出さないようにベテラン会員からロータリーの歴史や使命、楽しさなどを学んでもらっています。私も今年度は親睦活動委員長として、夜間例会でのさまざまな企画を通して、会員同士の絆を深めてもらえるようにしています。こうしたフォローも、会員維持のために重要なことと考えています。

入会候補者との出会いは一期一会と思い、チャンスを逃すことなく、誠意と情熱を持って会員増強に取り組んでみてください。（第2780地区 神奈川県）

卓話のお問い合わせは……

三浦RC事務局までメールで。info@miura-rc.jp

< 三浦RCの状況 >

- ・ 直近15年間20数名の会員数で推移
- ・ 三浦市の人口は4万人を下回り老齡化進行(65歳以上40%)

< 会員増強の手法 >

- ・ 50名増の3年計画
- ・ 三浦RCの公益的事業を紹介
- ・ 「町が良くなるよう一緒に行動しましょう」と訴求
- ・ 誠意と情熱をもって入会候補者に合った勧誘を行う

< 効用 >

- ・ 新会員(40代)が子供向け奉仕事業でもらう「ありがとう！」にやりがい
- ・ ベテラン会員がロータリーの歴史、使命、楽しさを伝える
研修、懇親企画で会員維持

会員増強の事例 高崎ロータリークラブ 新書「ロータリークラブに入ろう」



著作を手にRCの魅力を語る田中さん

入門書や解説書は数多く発行されているものの、その多くが難解でRCの良さが伝わらないと感じていたことから、コロナ下の巣ごもり時間を活用して一気に書き上げた。税理士でもある田中さん。知り合いに「力のある友達がたくさんできる」と誘われ、41

元ガバナーの田中さん

「ロータリークラブに入ろう！」著す

高崎ロータリークラブ（RC）会長を経て、県内45RCのまとめ役「国際ロータリー2840地区ガバナー」を務めた高崎経済大教授、田中久夫さん（64）が、RCの魅力や仕組みを豊富な体験談とともに分かりやすく伝える「ロータリークラブに入ろう！」（幻冬舎ルネッサンス新書）を著した。

体験を新書に

歳で入会してから、ガバナーとして国際人脈を広げるまでのエピソードを、細かな描写を交えユーモアたっぷりにつづっている。高崎RC会長時代には減少の一途だった会員を64人から115人にまで増強。その実践事例などビジネス書としても価値のある一冊になっている。

田中さんは、RCの特徴の一つとして、さまざまな職種、規模の会社の責任ある立場の人が同じ目線で話がで

RCの魅力を易しく

きることを挙げ、「不安を打ち明け、悩みを解消してくれる友人をつくるのに、ロータリークラブは最適」と魅力を語っている。
新書判、2016年、880円。主要書店で販売。

2021.06.27. 上毛新聞 地域欄

< なぜ高崎 RC は選ばれなくなったのか >

- ・ シニア会員自らが自覚すべきことを正しく認識していない
- ・ 新会員の入会后フォロー、ロータリーへの理解浸透(教育)に取り組めていない
- ・ 会長、幹事のリーダーシップが不足している
- ・ 女性会員入会への抵抗意識がある

< 高崎 RC の会員増強策 >

- ・ 会員増強チーム組成（若手、友人の多そうで性格明朗、夜間会議/月）
入会候補者リスト10名/人を作成チーム総力を挙げて勧誘
- ・ 目的は増員でなく「ロータリー入会がいかに関心のあるか」を
候補者に理解してもらうこと
- ・ 三種の神器の携行
「入会申込書」「高崎RCのプロフィール」「RCを説明する資料」
- ・ 新入会員を迎える例会などの工夫

会員増強に成功した事例における共通点

- ・ 目標の設定
- ・ リーダーの熱意
- ・ スカウトフォーメーション(全員での取り組み)
- ・ PR(スカウトツール、例会体験、事業体験)
- ・ スーパー紹介者の存在
- ・ 世代交代に成功

これらの要素が重なった時に大きな成果にむすびつく

クラブが一体となって取り組むために

会員増強活動の必要性、重要性を全会員が理解、腹落ちすることが重要

大東ロータリークラブさんの課題意識

- ・女性会員の増強
- ・既存会員と新入会員の融合

Diversity 多様性

Equity 公平さ

Inclusion 包摂

なぜ DEI が重要、必要なのか

- ・ 基本的人権の尊重
- ・ ロータリーの目的達成のために

<ロータリーの目的>

- ・ 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること ロータリーの原点
- ・ 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする事
- ・ ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々奉仕の理念を実践すること
- ・ 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

<ビジョン声明>

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。（2017年9月理事会会合 決定24号）

自分自身の中の良い変化

→ 職業上の倫理基準を高め、各自の職業を高潔なものにする

多様な価値観を持ったメンバーが親睦や奉仕活動を通じて刺激し合う(切磋琢磨)ことによって自分自身の中でよい変化を生み成長、進化(倫理観、高潔性の向上)することができる

多様な価値観がぶつかり合い、葛藤し、つながったとき

切磋琢磨



切磋琢磨の



既存の組織メンバーで変化を起こすのは容易ではない
変化を起こせるのは

よそ者、わか者、ばか者

- ・ 変化には多様性が必要であると確信できるか
- ・ 多様な価値観を尊重し、受け入れられるか

<ロータリーの目的>

- ・ 知り合いを広めることによって**奉仕**の機会とすること
- ・ 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする
- ・ ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々**奉仕の理念を实践**すること
- ・ **奉仕の理念**で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

奉仕活動

奉仕活動を通じた気付き、学びによって自分自身の中に良い変化が生じる

最もよく奉仕する者、最も多く報いられる

なぜ退会されるのか

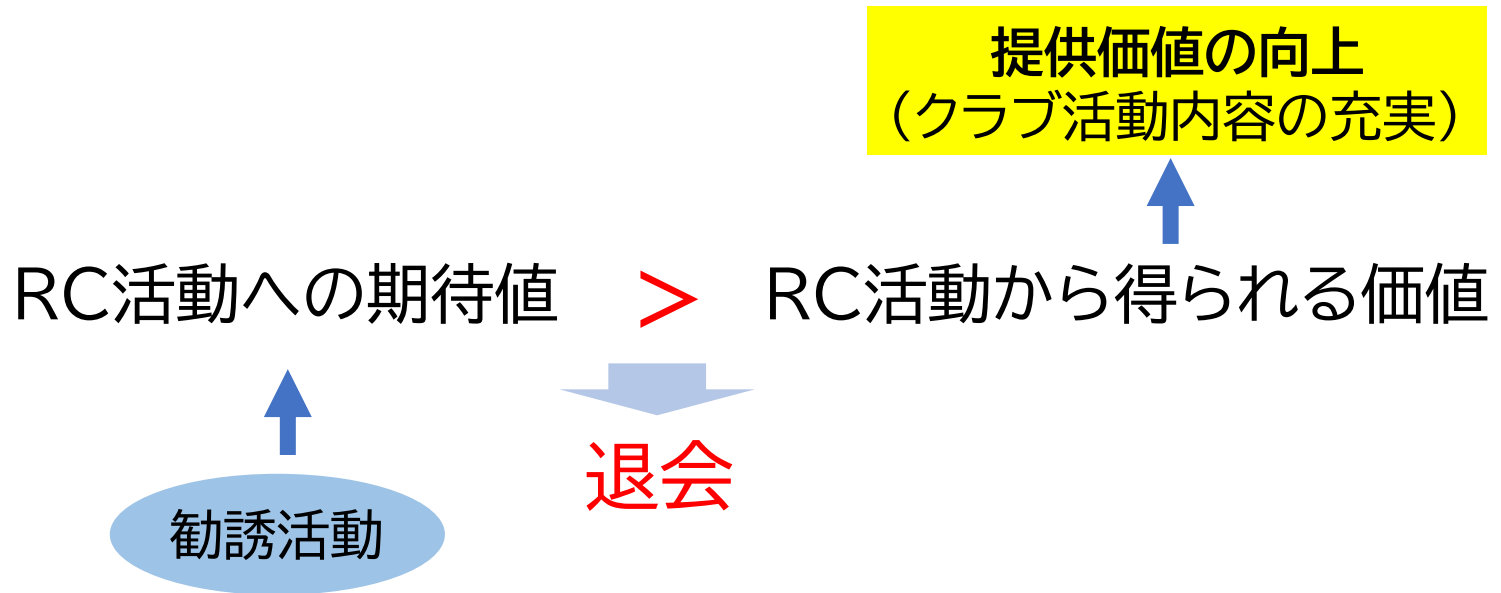
退会の理由を尋ねると

- ・ 仕事が忙しい
- ・ 年齢、家族の事情
- ・ 転勤、退職

退会の本質的な理由は何か

- ・ なじめない、疎外感がある
- ・ クラブ指導者、クラブ運営に不満がある
- ・ クラブの活動に興味が持てない
- ・ おもしろくない

会員の期待値を超える価値が提供できているか



- 勧誘活動** 大東RCはこんなクラブ
- ・ ロータリーの理念
 - ・ 得られるもの

会員増強と退会防止

- 会員増強
 - ・クラブが一体となった紹介、勧誘活動
 - ・クラブリーダーの熱意
- 退会防止
 - ・クラブが提供する価値の向上



どんなクラブを目指すのかを明確化、共有化することが必要

大東RCはどんなクラブで何を目指すのか

クラブビジョン

クラブビジョンを策定すれば会員増強ができるのか

???

- ・ 会員全員で議論してクラブビジョンを創り上げる過程に意義がある
- ・ 目指す姿、価値観を言語化して表明することが重要
- ・ トップが継続的に引用、意識付けして体質化することが重要

大東ロータリークラブが目指す姿

- ・ 何を目指して 目的
- ・ どのような規模(会員数)で
- ・ どんな活動をするクラブを 目標 ← 手段
- ・ いつまでに実現するのか

全員で議論し、共有し、腹落ちする

トップの強い意志とリーダーシップ

クラブが一体となった活動

地区大会 分科会Ⅱ クラブの未来を見に行こう

Rotary
District 2660

2024-25年度 国際ロータリー第2660地区

地区大会

2024.11/29(金)-30(土)

THE MAGIC
OF ROTARY

ロータリーのマジック

Day 1

1日目 11月29日(金)
会場 | リーガロイヤルホテル大阪
住所: 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68
TEL: 06-6448-1121

| time | event |
|-------------|--------------------|
| 14:00~ | 受付 |
| 15:00~15:30 | 開会式・クラブ表彰 |
| 16:00~17:15 | 分科会Ⅰ 会長・幹事・RAC会員部門 |
| 16:00~17:15 | 分科会Ⅱ |
| 16:00~17:15 | 分科会Ⅲ |
| 18:00~20:30 | 晩餐会 |

Day 2

2日目 11月30日(土)
会場 | 大阪国際会議場
住所: 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51
TEL: 06-4803-5535

| time | event |
|-------------|-------|
| 12:00~ | 受付 |
| 13:00~16:00 | 本会議 |

◆ ロータリーのマジック



2024-25年度
国際ロータリー
第2660地区

ガバナー 大橋秀典

クラブの活性化、被災地の復興・復興、ポリオの根絶など、私達ロータリアン・ローターアクトは日々多くの奉仕に取り組んでいます。クラブの未来はどんなもの？私たちの未来はどんなもの？すべては私達にかかっています。明るい未来を描くためには、私達の力が必要です。地区大会に結集し、一緒にロータリーマジックを起こしましょう！

11
29
FRI

1日目 晩餐会 会場：リーガロイヤルホテル大阪

Day 1

晩餐会 岡本 知高氏 (ソプラノ歌手) 18:00~20:30

「奇跡」と奇蹟されたその歌声……女性ソプラノの音域を持つ男性ソプラノ歌手、「ソプラニスタ」岡本知高氏のコンサート。これまで、国内外のオーケストラとの共演に加え、数多くのスポーツイベントで国歌独唱を披露。2023年12月、CDデビュー20周年を迎え、ますます精力的に活躍中の岡本知高氏。得意とするクラシックナンバーはもちろん、映画音楽や日本の歌謡曲など幅広いジャンルのプログラムを、自身の面白トークを織り交ぜながらお楽しみいただきます。世界にその名を轟かせるソプラニスタの、珠玉の歌声をご堪能ください。

＜プロフィール＞
1970年生まれ、高知県高知市出身。
ソプラニスタ(男性ソプラノ)歌手。
世界的にも大変有名な「天路の清純ソプラノ歌手」である。



ソプラニスタ
岡本 知高氏

国立音楽大学を卒業後、フランスのブーランジェ音楽院を首席で修了。心の深淵に達やく響く唯一無二の歌声が「奇蹟の歌声」と呼ばれ、世界的なキャリアクターとコスチュームも併せてクラシック界にとどまらず各方面からの呼び声も高い。

分科会 I 「日本古典の未来を見に行こう」 講師：福田 安典氏 (日本女子大学教授) 16:00~17:15
会長・幹事・RAC会長部門

現在、若者を中心に古典離れが囁かれています。高校から古典科目は外せ、との声もよく聞きます。本当に日本の古典はおもしろくなく、未来に残すものではないのでしょうか、どの立場からあららこちらで発言をしております。今回は、歴史と文化の盛り誇る大阪から日本の古典の未来を見ていきたいと思います。

＜プロフィール＞
生大出初見、山崎学院高校卒、大阪大学卒、同大学院文学研究科修了。博士(文学)。早稲田大学、愛媛大学を経て東京日本女子大学文学部教授。著書に「『万葉集』の研究―大塚昌高の『万葉集』の研究―」(共著)「古典は本当に必要なのか、肯定論者と懐疑論者とを対峙して考える」(『江戸の書評家』)など。



日本女子大学教授
福田 安典氏

分科会 II 「クラブの未来を見に行こう」 拡大増進委員会 16:00~17:15

地区内の会員数30名以下のクラブの活性化を考える会に！
特地区の東海者のご意見も参考に！
ファンリレーションを促進して、多方面の意見交換を！

＜ゲスト＞ 自派ロータリークラブ(ミニ講演)
他地区からの東海者
地区内のクラブの代表者
＜ファシリテーター＞ 西室ランニング委員会(バスターガバナー)

分科会 III 「バロック音楽の未来を見に行こう」 西村 恵一氏 (ヴァイオリニスト) 16:00~17:15
西村 恵一(ヴァイオリニスト)と大阪ヴィヴァルディ合奏団

バロック時代の作曲家ヴィヴァルディの研究・演奏の第一人者西村恵一によるバロック音楽の魅力とたっぴり味わえる分科会です。バロック音楽は300年前の音楽ですが、その演奏スタイルは年々進化しています。21世紀のバロック音楽演奏、そして未来の演奏スタイルはどうなっていくのか？ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、チェンバロ、フルートの演奏で、ヴィヴァルディの名曲「四季」を演奏し、未来の演奏についても語って頂きます。華やかなバロック音楽を心ゆくまでお楽しみください。

＜プロフィール＞
大阪音楽大学卒業。大学時代に新橋7子氏の特別レッスンを受ける。2004年、当時大阪交響楽団として活動していた、西村恵一氏の創立により、ヴィヴァルディの研究・演奏の第一人者として知られ、ヴィヴァルディの誕生日に開催「アントニオのヴィヴァルディの生誕祭」を開催し、ヴィヴァルディの日本公演も多数、日本モーツァルトフェスティバル協会の代表。北村音楽(株)代表取締役、大阪音楽大学付属音楽院院助、日本音楽家ユニオン常務幹事。



ヴァイオリニスト
西村 恵一氏

分科会II

11
30
SAT

2日目 本会議 基調講演 会場：大阪国際会議場

Day 2

基調講演 大阪・関西万博の挑戦 万博が描く未来社会

私たちは何のために万博を開催するのだろうか？万博開幕が目前に迫る中、あらためてこの問いに向き合いたい。

万博開会に成功し、1970年に大阪で開催された万博の成功体験に重なる歓楽ムード1色に包まれていた当初と比べ、万博を取り巻く雰囲気は大きく変わってきた。開催に向け九層の課題や制約と対峙する中で、万博開催の意義は存在意義を失い、賛成と反対の対立意見が社会を分断している。万博は国際条約に基づいて開催される催しであり、開催国は国際社会に表明した計画の遂行に責任を負っている。

国内だけで開催の是非を問う議論に時間とエネルギーを費やしている、国際社会における他国の見聞は格別な。世界と交わる契機をもち一度限り限り、何のために万博を開催するののかをあらためて社会全体で議論することが求められているのではないだろうか。

世界に目を転じると、万博はすごい勢いで進化を遂げている。2020年の開催予定を1年延期して開催されたドバイ万博は、これまでの万博の成果を積極的に取り入れて、さらに新たな試みに挑戦し、華やかな成果を挙げた。大阪・関西万博の次の開催地として決定したサウジアラビアのリヤド万博は、砂漠を緑化した660ヘクタールの巨大な会場において、最先端のテクノロジーやサステナブルな社会を模倣する。万博は、未来社会の理想を具現化する場として、世界に目を転じている。

これら万博に共通しているのは世界共通の課題についての対応と、大規模な開発プロジェクトへの投資意欲を基盤とした経済外交の舞台となっていることである。

これまでもと全く異なる、まさに「新たな時代の万博」が幕を開けているのである。大阪・関西万博が、こうした万博の進化に乗り遅れず、感動した国家が開催する万博としてどのような価値を創造できるかに世界が注目している。

本講演では、こうした潮流を注視し、万博の歴史とドバイ万博の成果を鑑照すると共に、大阪・関西万博で挑戦する独自の取り組みについて解説する。



大阪・関西万博
会場運営プロデューサー
石川 善広氏

ゲスト参加型！

「ファシリテーション方式」で議論して

クラブの未来を 見に行こう

11/29(金) 16:00~17:15
会場 リーガロイヤルホテル大阪

ファシリテーターのもと、
5つのテーマで
議論していきます！



世界から見た
日本のクラブを
考える

活動を特化した
クラブを考える

少人数クラブの
これからを考える

クラブ間交流の
活性化を考える

世界から見た
女性が活躍する
クラブを考える

SPECIAL GUEST

スキーイベントに
特化！

白馬RC

その他活動を特化したクラブ



2024-25年度
全国ガバナー
10~15名



トルコ・イスタンブール
ハフサン夫妻

RI国際大会で3年連続 SAA担当

地区 クラブ奉仕・拡大増強委員会は
継続的なサポートをさせていただきます

ご清聴ありがとうございました